

Borderless IR Co., Ltd Announces Newsletter

株式会社ダイキアクシス(4245 東証1部) 2016年12月期決算報告の概要

決算概要

○2016年度から2018年度の中期経営計画（V-PLAN60）を策定し、2016年度は、HOP, STEP, JUMPのHOPの年として、更なる企業価値向上に向けた取り組みを行った。2016年度は、将来の収益及び利益確保に重点を置き、環境機器関連事業セグメントでは、ストックビジネスとしてのメンテナンス事業及び上水事業におけるエスコ収入、海外における営業強化、住宅機器関連事業セグメントでは、基本に忠実な営業スタイルを徹底し、新規顧客開拓に努めた。

○2016年12月期の売上高は328億10百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は9億31百万円（前年同期比1.6%減）、経常利益は11億36百万円（前年同期比5.0%増）、親会社に帰属する当期純利益は6億48百万円（前年同期比94.8%）となった。

○環境機器関連事業については、海外売上高の大幅増加等により、売上高は159億13百万円（前年同期比3.3%増）、セグメント利益（営業利益）は11億98百万円（前年同期比5.5%増）となった。

○住宅機器関連事業については、前年度異例の多さだった事業が減少したが、店舗建設関連工事が大幅に増加し、売上高161億66百万円（前年同期比0.8%減）、セグメント利益（営業利益）は4億97百万円（前年同期比12.3%減）となった。

○その他事業では、クリクラ事業が前年同期と比べ増加、BDF関連事業がBDFプラントの販売で、前年同期比大幅増、小型風力発電機関連事業は発売第一号となる発電機及び研究開発受託に係る売上高を計上できた。結果、その他事業は、売上高7億31百万円（前年同期比11.6%増）、セグメント利益（営業利益）22百万円（前年同期は83百万円の損失）となった。

○2017年12月期の連結業績の見通しは、売上高344億円、経常利益13億50百万円、親

会社株主に帰属する当期純利益は 8 億 50 百万円と増収増益を見込んでいる。

[株式会社ダイキアクシス \(4245 東証 1 部\)](http://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS03821/3d73eb3f/d7c1/417e/8952/e29a0e7696e0/140120170213497815.pdf) の 2016 年 12 月期決算短信については、こちらをご参照ください。 <http://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS03821/3d73eb3f/d7c1/417e/8952/e29a0e7696e0/140120170213497815.pdf>

リリースの免責事項

本リリースは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。なお、本サービスにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

リリースに関する照会先

[Borderless IR 株式会社](http://borderless-ir.co.jp)

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-2-10 東洋ビル 6F

T E L 03-4588-6706

info@b-ir.co.jp

Borderless IR は、海外向け I R 情報配信専門の会社です。世界有数のメディア、企業情報データベース、メーリングリスト等を通じ、海外投資家にダイレクトに企業の最新情報と本質的な強みを主としてニュースレターとアナリストレポートで配信しています。その他、海外 I R 支援全般を手掛けているプロフェッショナル企業です。

©Borderless IR Co., Ltd. All rights Reserved

本リリースに掲載された内容を許可なく複製、転載することを禁じます。